1	事業者の氏名	<u> </u>
1	事業有の氏名	丰

 事業者の氏名
 住友商事株式会社

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)
 代表取締役 上野 真吾

 事業者番号A1016

2 報告する事業所等の全体の状況(2023年度の状況)

条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数		: 原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	,	kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	0 事業所	: 原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出	10,319	t	
量	10,010	C	

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等 □ 奏務提出事業所 ■ 全事業所

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
合計二酸化炭素排出 量	7,876.00	7,564.00	8,477.00	8,734.00	10,319.00	t
合計延床面積	226,709.04	140,341.94	151,980.86	165,145.04	165,513.32	m²
合 計 原 単 位	34.74056	53.89693	55.77676	52.88684	62.34543	kg-CO ₂ /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率	-6.98	%
平均合計原単位改善 率	-15.74	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 数	0	事業所
再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 率	0	%

7 評価結果

1		
地取	球温暖化対策の 組に係る評価	 ランク

			(裏	<u>(</u>)		
8 実績年度のE 実 績 年 度 目 標 達 成 の キ	\mathcal{O}		達成した。			
9 提出年度の地	也球温暖化	対策の	の目標	1		
目標の有	無口有	Ī	無			
合計二酸化炭素	排出量削	減率			%	
合 計 原 単	位改善	字 率			%	
再生可能エネルギャー 幸		業所			%	
<u> </u>		他	特記事項	■■■ 質に内容を言	記載	
		,,,	14 HG 1		12-174	
10 地球温暖化	対策のレイ	ベル				
重点対策のレー	ベル 1	-				
Livilla I.a.a.						
11 事業者として	C 1 2 2/X/1933					
取組方針	当ビル入り対策に取り策定・実施	り組む	。①運用•伊	R守方法の3	最適化 ②	下3点を重視して、地球温暖(の中長期的な設備改修計画の アネ施策の立案・実施
		Ē				その他対策
	対策番号		対策名	, I	対策番号	
	A101	地球温	暖化対策のプ	 与針等の設定	A110	外部専門家への相談依頼の実施
組織体制の	A102	温暖化	対策推進担	当の配置	A113	推進担当者の知識向上・内部還
整備の状況	A111	全従業	員に温暖化対	策情報の提供	* A116	所内会議・研修会等で報告
 12 特記事項						
12 村記争項						
	当初より作成し	した「エ	ネルギー按グ	分ツール」を作	使用し、テナ	ントにエネルギー使用量の通知
を継続して実施。						
ļ.						

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

	T/\		.,,																					
事	業所	- 等	の名	称	ミツ	' ワハ	ЫП	町と	ジル															
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	0	1										
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	2	区	市	町材	村名	」 東	京	都千個	田犬	区		
事	業所	等の	所存	E地	町夕以	名番	予地 下	神日	引力	町3	3-7-1	1												
事	業所等	いまり かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいし	延床こ	面積		4,	756	.82	m^2		業別ネル								1	年度	分] 14	年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有		■他	1者月	听有												
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	物の	クー	部(テナ	トン	/ト)			建	物の	一 音	羽(.	その	他)
報	告範圍	囲の	主た	る用		事	务所					商業	 能施	設(物	販)			商	業施	設(飲	食)	
		途				工場	易					複合	}施	設					その	の他				
に	本 標 おける	締	分類者	番号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	と	分		I	直営 吉			コカ	ル盟	店		■ 非	丰該当
再の	生可能 利	ドエ. 用	ネル: 状	ギー 況				能エス 帯の記		ギー		再生 気σ			ネ.	ルギ	一電			正書に		る環	境侃	插值
前か	年度 ら <i>0</i>			勺容 点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 140	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	272	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁴ 273	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 57.1	$kg-CO_2/m^2$

3 _ 酸化灰素排出重等の内試										
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12	
./+\.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
び熱	その他()				0.0					
200	その他()				0.0					
—	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	556,393.0	9.76	5,430.4	0.4890	272.1	
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 5,430.4		⁽¹⁵⁾ 272.1	
その	水道及び工業			m^3	2,789.0			0.2660	0.7	
他	公共下水道			m^3	2,961.0	$\overline{}$		0.4000	1.2	
		合 計							1.9	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

4	地球温暖	化対策の	実施状況
_	FILL WILLIAM POX	11 1/11 218 42	フェルドリハコル

			重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計				
∳ □ ∳	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供				
水土 7	戦や前の登漏			A402	使用量の推計に必要な情報の提供				
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握				
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較						
(X)	11 4/4 1/15 4/2 1/15 1/15								
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示				
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整				
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減				
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定				
	運用対策								
省									
пH									
ネ									
ルギ									
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検				
対	乳 農 伊	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検				
策	設備保守対策								
	_	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)				
	設備導入対策								
	以州等八刈尔								

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無			_			
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度出		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6	特記事項				

(日本産業規格A列4番)

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

事	業所	等	の名	称	WC	DRK	. VI	LLA	N.	IITC	SH	IRC)										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	0	4									
				•	Ŧ	1	0	1	-	0	0	5	3	区	市	町	村:	名	東京都千個	田グ	区		
事	業所	等の	所在	地	町。	名番	地 下	神田	3美:	上代明	叮1												
事	業所等	争の 🤊	延床面	ī積		20,	132	.77	m^2		業 戸 ネ <i>i</i>								■ 1年度	分] 1年	未満
所	有		形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有											
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部	S [] 殞	は物の	カー	部(テナ	トン	/ト)] 建物の	一部	ß(そ	一の他	也)
報	告範圍	里の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物	販))] 商業施	設(飲負	()	
		途				工場	易					複合	}施	設					〕その他				
に	おける	細	至業分 分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事	業区	分			直営 吉	i		□ 加盟/	店		非	該当
再の	生可 利	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況				ピエス 帯の記		ギー		再生 気の			ネ,	ルキ	<u>.</u>	電	□ 証書に の利用		5環	境価	値
前か	年度 ら 0		设告内 定 更	容点	更。		模改	[修]											VILLA MI 施していた				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算ユ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 317	kl
一般ル島	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 616	t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 618	t
二酸化炭 素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 30.5	$kg-CO_2/m^2$

			推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位			(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			2 47 77		6	7	8=(6/1000)×7	9	$0 = 8 \times 9 \times 44/12$
444.	都市ガス			Nm^3	610.0	45.00	27.4	0.0136	1.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	べ その他()				0.0				
7/1	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,256,974.0	9.76	12,268.1	0.4890	614.7
規則	川第5条の17第33	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計					/	⁽⁴⁾ 12,295.5		⁽¹⁵⁾ 616.0	
その	水道及び工業	(用水道		m^3	1,444.0			0.2660	0.4
他	1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			m^3	6,125.0			0.4000	2.5
		合 計						/	2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

		,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
√ □ √	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
水土 芥	戦 平 刊 ワ 登 佣			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
) 18 tete 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 月状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
127	13 47 00 10 10 10				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策				
省					
エ					
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	议				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
	以拥等八刈尔			E130	全熱交換器の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

6	特記事項				

1	事業所等の概要
	サポハ サツルタ

	3 /1~/																		
事	業所	等	の名	称	日元	本弘	.道:	会ビ	ル										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	0	7					
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	6	5	区	市	町	村名	東京都千代田区	
事	業所	等の	所在	E 地	町彡以	名番	^影 地下	西神	≢⊞3	-1-6	5								
事	業所等	争の多	延床面	百積		3,	880	.99	m^2								度の 月間		ら 満
所	有	•	形	態		自己	3所	有] 他	1者月	听有						-	
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	き物の	カー	部(テナ	ナン	/ト)		■ 建物の一部(その他))
報	告範圍	事 の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設((物)販)		□ 商業施設(飲食)	
		途				工場	易					複合	}施	設				□ その他	
にこ	本 標 おける	細り	分類種	肾号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟店 ■ 非該	送当
再 ź	生可育 利	ピエ. 用	ネルコ 状	ギー 況				指の 請		ギー			E可能)受 <i>》</i>		ネ	ルギ	一電	証書による環境価値 の利用	Ī
前か	年度らの			可 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	103	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	200	t
上 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 201	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 51.5	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> (1)	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	410,980.0	9.76	4,011.2	0.4890	201.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,011.2		201.0
その	水道及び工業	美用水道		m^3	2,047.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	2,047.0			0.4000	0.8
		合 計						/	1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
√ □ <i>√</i>	並 仕 出 の 軟			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
水 丑	能体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
) . 18 /44 -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
汉 /	17 4八 701 02 11 11年	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
省		C805	中央熱源機器等の季節設定実施		
工					
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対	凯供归壳装饰	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
				E129	全熱交換器の導入
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
	双 漏 等 八 刈 朿			E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特	記事項			

1	事業所等	の概更
1	ず未川 寸	ソンルメステ

	7 /1																					
事	業所	等	の名	称	CN	-1]	BLD	G.														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	1	1								
	W	1.1.	<i>1</i>		Ŧ	1	3	6	_	0	0	4	2	区	市	町	村名	東京都海	江東区	ζ.		
事	業別	等 の	所在	土地	町 <i>ź</i> 以	名 番	· 地 下	木場	3 5−5	-2												
事	業所等	等の3	延床面	面積		6,	918.	.66	m^2		業 戸ネノ								度分] 1年	未満
所	有	•	形	態		自己	2所	有		■他	1者月	听有										
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部] 建	は物の	カー	部(テラ	ナン	/ト)		□ 建物	$\bigcirc -\frac{1}{4}$	部(-	その作	11)
報	告範	囲の	主たる	5用		事務	务所					商美	 能施	設((物)販)		□ 商業	施設((飲:	食)	
		途				工場	易					複合	合施	設				□ その(他			
にこ	おける	が細り	養 業 分 分類 番	\$号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟	盟店		非	該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				指の 請		ギー			E可能)受 <i>》</i>		ニネ	ルギ	一電		善によ. 引用	る環	境価	値
		の 勃 変	と告 内	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 243	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 472	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 473	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 68.2	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)	1		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	967,224.0	9.76	9,440.1	0.4890	473.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 9,440.1		⁽¹⁵⁾ 473.0
その	水道及び工業	美用水道		m^3	2,968.0			0.2660	0.8
他	公共下水道	•		m^3	2,968.0			0.4000	1.2
		合 計							2.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
♦□ ♦	並圧型の動圧			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
水 丑	職体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
) - 10 - 66 -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
区,	17 4人 ()□ ∨ / 1□ 1座			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C808	温湿度の適正管理
	運用対策			C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省					
пH					
ネ					
ルギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設 				
	_	E114	高効率パッケージの採用	E130	全熱交換器の導入
	設備導入対策				
	以州等八刈尔				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

特記事項			

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

車	業所	- 竺	の 夕	私	往:	k st	する	迫即	1 LN 1	۱,								
7	未加	4	V) 11	Δ/J,	11./	又 [中,	14-1	ரா பர _்	L/									
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	1	6				_
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	4	区	市田	丁木	寸名	東京都千代田区
事	業所	等の	所在	E 地	地町名番地 神田錦町1-6													
事	業所等	争の多	延床面	面積		9,	041	.33	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>;</u> -	実 績 使	責年 用	E 月	麦 <i>の</i> 月間	D 1年度分 □ 1年未満
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有						
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部	S [〕	き物の	クー	部(テナ	ント	\)		□ 建物の一部(その他)
報	告範囲	囲の	主たる	る用		事務	务所					商美	Ě施	設(物則	反)		□ 商業施設(飲食)
		途				工場	易					複台	計施	設				□ その他
に	本 標 おける	細り	分類	€号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		直店	営		□ 加盟店 ■ 非該当
再の	生可育 利	ピエ. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				ピエン 帯の記	ネル: 没置	ギー		再生 気の			ネル	ギ	一電	証書による環境価値の利用
前か	年度らの			容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 270	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 524	t
上 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	^④ 527	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 57.9	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一 </u>	非出重等の2	当前代						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ®=8×9×44/12
.144.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,073,190.0	9.76	10,474.3	0.4890	524.8
規則	則第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 10,474.3		⁽¹⁵⁾ 524.8
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	4,907.0			0.2660	1.3
他	公共下水道			m^3	4,907.0			0.4000	2.0
		合 計							⁽¹⁶⁾ 3.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

4	地球温暖	化対策の	実施状況

	地球価暖化剂		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
√ □ ⟨	並み生の動性			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
和工	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
-		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の	DIVI	日の八丁可能な旧様に基ってに圧	DIO	工女队师,人人们们心门口匠
(快)	用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C806	その他設備の不使用時の停止
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
	運用対策	C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
省					
エネ					
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
<i>></i> /K	LES AND RIG A VIA NIC				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		
	FV № 27 / V/1 /K				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無			_				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度出		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た		kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載						

6	特記事垻			

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

	7 /1~																					
事	業所	等	の名	称	WC	DRK	VII	LLA	ΛK	YO:	BAS	SHI										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	1	7								
					Ŧ	1	0	4	_	0	0	3	1	区	市	町	村	名	東京都中央	区乡		
事	業所	等の	所在	地	町夕以	名番	F 地 下	京橋	§1−1	3-1												
事	業所等	等の変	近床百	面積		9,	726.	.41	m^2		業								■ 1年度名	<i>जे</i>		年未満
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	所有										
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部	S [] 殞	物	カー	部(テナ	トン	/ト)			〕建物の−	一部	(その)他)
報	告範目	囲の	主たる	5用		事	务所					商美	美施	設(物	販))		〕商業施	設(的	饮食)	
		途				工場	易					複台	合施	設] その他			
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		退后	重営 吉	i		□ 加盟原	吉		非該当
再 2 の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	řー 況				ピエス 帯の 記		ギー		再生 気の			ネ,	ルキ		電	□ 証書に の利用		環境	価値
	年度 ら <i>0</i>	の 勃 変		容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 140	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	272	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 272	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 27.9	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> (1)	**** その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	558,262.0	9.76	5,448.6	0.4890	273.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 5,448.6		⁽¹⁵⁾ 273.0
その	水道及び工業			m^3	1,496.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,496.0			0.4000	0.6
		合 計						/	1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組織体制の整備				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
乔 丑.	戦や前の登漏			A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
) 18 to 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 407 105 00 115 115			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
工		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ルギ				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	設 				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以州守八八八八	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無					_	
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6	特記事項			

1	事業所等の概要	F
1	サ 表別 守り城る	Z

1 1	1 事業別等の概要																						
事 業	\$ 所	等(の名	称	住石	E 友商事神保町ビル																	
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	1	8									
- 	h	4	<i></i> -	. 111.	Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	1	区	市	丁柞	寸名	東月	京都千	代田	区		
事業	所等	争の	所 在	地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	神田	神色		2-11-												
事業	所等	の延	(床面	摃		6,	846	.03	m^2		業								1年度	分		1年	未満
所	有	Э	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有											
報	告	É	範	囲		建物	勿の:	全部		〕 殞	き物の	D—	部(テナ	ン	·)		□ ¾	単物の)一音	阝(そ	一の他	<u>扣</u>)
報告	範囲	の <u>=</u>	Eたる	5用		事務	务所					商弟	纟施	設(物則	反)		□ 雨	5業施	設(飲食	ŧ)	
		途				工場	易					複合	計施	設				□ ₹	その他				
日本にお	ける	細分	類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	美区	分		直店	営			加盟	店		非	該当
再生の		エネ 用	ベルキ 状	ェー 況				ピエ <i>ス</i> 帯の記		ギー		再生 気の			ネル	ギー	一電		証書の利力		5環5	竟価値	直
前年から)報 変		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 446	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 866	t
上 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 126.4	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一既几火杀1</u>	非出重等のど	7月八						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
دائل.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
—	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,772,930.0	9.76	17,303.8	0.4890	867.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 17,303.8		¹⁵ 867.0
その	水道及び工業			m^3	3,788.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,788.0	$\overline{}$		0.4000	1.5
		合 計							¹⁰ 2.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
√ □ «	織体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A207	排出状況の整理・分析・提供
和土	戦や前の登漏			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
省				C808	温湿度の適正管理
工				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾	以 佣 床 勺 刈 水			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
	以明寺八八八水			E105	照明用人感センサの採用
				E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

6	特記事項				

1	事業所等の概要	
1	ず未川守り拠す	C

	ナル	// 1 -4																						
事	業所	等	の名	名 称	住	友商	事	グロ	ー /`	ジル	人材	開	発も	ン	タ	_								
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	2	1										
					Ŧ	1	0	4	_	0	0	6	1	区	市	町村	寸名	東	京者	『中央	区			
事	業所	等の) 所 ?	在地	町夕以	名番	予地 下	銀座	<u>₹</u> 7−1	7-16	5													
事	業所等	等の)	延床	面積		4,	911	.21	m^2							年月月期			1年	下度分	}		1年	未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者原	听有	•											
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	物の	クー	部(テナ	トン	/ト)			建物	カの-	一部	ડ (સ	一の作	11)
報	告範	囲の	主た	る用		事	务所					商美	 能施	設(物)販)			商弟	纟施 記	殳(f	飲食	()	
		途				工場	易					複合	合施	設					その)他				
	本標 おける				5	6	0	0	連	鎖化	(事)	業区	分		Ī	直営 吉] 加	盟尼	ij		非	該当
再の	生可能	能工 用	ネル 状				三可育 宣設 [6		ネルン 2 2 置	ギー			E可能)受 <i>力</i>		ネ	ルギ	一電	Ē		:書に 利用		環境	竟価値	値
前か	年度ら	の 執 り 多																						

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 95	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 185	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 37.6	$kg-CO_2/m^2$

	<u>一般に次系。</u> 燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)	1		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	380,313.0	9.76	3,711.9	0.4890	186.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,711.9		186.0
その	水道及び工業	\$用水道		m^3	1,531.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,531.0			0.4000	0.6
		合 計							1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
∜□	能体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
市丑	戦 平 削 グ 登 佣				
	A LE MA	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 月状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
12.7	11 1/4 1/2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
省				C808	温湿度の適正管理
エ				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ルギ				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
]		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	以闸床与对水				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	以朋等八刈來	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
		E123	トップランナー機器の採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

1	事業所等の概要
1	

事	業所	等	の名	称	麹	叮三	葉は	ゴル	,													
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	2	4								
					₹	1	0	2	_	0	0	8	4	区	市	町	村:	名	東京都千代	田区	<u> </u>	
事	業所	等の	所在	土地	町。	名番	新地 下	二番	針町 3	-5												
事	業所等	等の3	延床面	面積		8,	579	.77	m^2		業 ア ネ ル								■ 1年度分		<u> </u>	年未満
所	有		形	態		自己	己所	有		■ 他	1者月	听有										
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	s I	■ 建	き物の	クー	部(テナ	トン	/ト)			〕建物の一	部	(その)他)
報	告範囲	事 の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物	販))		〕商業施設	:(飲	(食)	
		途				工場	易					複合	合施	設					〕その他			
に	本 標 : おける	細り	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉	i		□ 加盟店		■ 3	非該当
再の	生可育	ピエ. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエ <i>ス</i> 帯の記		ギー			E可能)受 <i>2</i>		ネ	ルキ	ž—í	電	□ 証書に』 の利用	tる!	環境個	価値
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算ユ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 347	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 674	t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 674	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 78.5	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一 </u>	非出重等の2	当前代						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ®=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,379,575.0	9.76	13,464.7	0.4890	674.6
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 13,464.7		⁽¹⁵⁾ 674.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	20.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	20.0			0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

		,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
√ □ «	職体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A207	排出状況の整理・分析・提供
水 丑. 7	戦性前の登加			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
	11 4/4 1/10 0/2 1/10 1/12			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
省		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
エ				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ネ				C812	自動販売機の不要時の停止
ルギ				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	設 				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	以州等八刈水	E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

6 特記事項

1	事業所等の概要	
1	ず未川守り拠す	C

	T/\	// 1 .4	. 1.2																					
事	業所	- 等	の名	名 称	住	友商	事	京橋	ビノ	レ														
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	2	5										
	VII	1.1.			Ŧ	1	0	4	-	0	0	3	1	区	市	町木	寸名	東	京者	『中央	区			
事	業所	等 <i>0</i>) 所 ?	在地	町夕以	名番	予地 下	京橋	§1−1	7-10)													
事	業所等	等の)	延床	面積		11,	177	.55	m^2	事	業別ネル								1年	下度分	}		1年	未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有												
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	物の	クー	部(テナ	トン	/ F)			建物	カの-	一部	(そ	の他	ī)
報	告範圍	囲の	主た	る用		事	务所					商業	 能施	設(物	販)	[商弟	美施 記	殳(食	次食	;)	
		途				工場	易					複合	}施	設			[その)他				
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		退	営] 加	盟店	11		非詞	亥当
再の	生可能 利	_{とエ} 用	ネル 状	ギー 況			三可育 宣設 [6		ネルン 2 2 置	ギー			E可能)受 <i>力</i>		ネ,	ルギ	一電			:書に 利用		環境	色価値	直
前か	年度 ら <i>0</i>																							

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 319	kl
一酰ル岸	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	© 619	t
まれた。 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 621	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 55.3	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の種別						熱量		炭素排出量
				単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					6	7	8=(6/1000)×7	示数 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
<i>7</i> /11	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,267,441.0	9.76	12,370.2	0.4890	619.8
規貝	川第5条の17第33	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 12,370.2		⁽¹⁵⁾ 619.8
その	水道及び工業	\$用水道		m^3	4,319.0			0.2660	1.1
他	1 1 1 T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			m^3	4,319.0			0.4000	1.7
		合 計				$\overline{}$		/	2.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
√ □ √	サイチョン 東岸			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
乔 丑.	職体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
) 18 to 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 407 105 00 105 115			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
工		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ルギ				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	設 				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以州守八八八八	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無					_		
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載						

6	特記事項			

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

事	業所	等	の名	称	MII	RAI	LA	ВР	ALE	ETT	Е											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	4	0								
					Ŧ	1	0	0	_	8	6	0	1	区ī	市	町	村。	名	東京都千代	田力	区	
事	業所	等の	所有	E地	町夕以	名番	地下	大手	三町_	二丁	目3番	\$2号	大手	戶町	プレ	イ.	ス	イー	ーストタワー			
事	業所等	等の多	延床面	面積			0.	.63	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>;</u> 	実 績 使	責 ³ 月	手月	度の明月	か 間	■ 1年度分	分		1年未
所	有	•	形	態		自己	2所	有		■ 他	1者月	听有										
報	告	•	範	囲		建物	かの:	全部	3	■ 殖	物	カー	部(テナ	ン	ト)			〕建物の-	一部	3(そ	の他)
報	告範目	囲の	主たる	る用		事務	新					商美	 能施	設(物	販)] 商業施調	没(1	飲食	:)
		途				工場	景					複台	計施	設					こその他			
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		直尼	[営 f	ì		□ 加盟區	吉		非該
再の	生可能 利	能工. 用	ネルジ 状	ギー 況				ピエス 帯の 記	ネル: 没置	ギー		再生 気の			ネノ	レキ		電	□ 証書に の利用		環境	竟価値
	年度 ら <i>の</i>	の 動 り 変																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	1)	36	kl
一鹼ル岸	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	71	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	4	71	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	112,698.4	kg-CO ₂ /m ²

3	<u> </u>	非出重等のど	111/						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ^{(8=(⑥/1000)×⑦}		炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
دائل.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)				0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱				MJ	0.0	1.36	0.0	0.0600	0.0
200	べ その他(冷水)			MJ	0.0	1.36	0.0	0.0600	0.0
-	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	145,555.0	9.76	1,420.6	0.4890	71.2
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 1,420.6		71.2
その	水道及び工業			m^3	0.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	0.0			0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対	策			その他対	対策	
		対策番号		対策名		対策番号	7	付策名	
		A401	テナントにエ	ネルギー使用	量提供				
組織	職体制の整備								
/1 21 /1	WILL INTO TE NII								
エン	ネルギー等の								
使月	用状況の把握								
	運用対策								
省									
エネ									
ル									
ギー									
対									
策	設備保守対策								
	設備導入対策								
	以 [一 子 / 八] 水								
実統	責年度の目標達	成の状況	□目標達	成した。	1				
					<u>.</u>]				
	提出年度の地			票					
目	標の有無		無無		1		and the first		
I-		ベンチマー			ランク		2削減率(前年度	EH	%
目標	票値等(選択)		【(延床面積当た	41. 	kg-CC		2排出量(総量)		t
		その他		特記事項	こ内容を	記載			
0	N+ === =====								
6	特記事項								

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

事	業所	等	の名	称	NE	WN	O神	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	錦町	Î								
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	4	3				
				•	Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	4	区	市	町	村名	東京都千代田区
事	業所	等 σ	所在	土地	町。	丁名番地 神田錦町一丁目2-1												
事	業所等	章の3	延床面	面積		5,	451	.22	m^2		業 ア ネ ル							
所	有		形	態		自己	2所	有		■他	1者月	听有						
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 殞	き物の	カー	部(テナ	ナン	/ト)		□ 建物の一部(その他)
報	告範囲	目 の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物)販)		□ 商業施設(飲食)
		途				工場	易					複合	}施	設				□その他
にこ	本 標 : おける	細り	分類番	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟店 ■ 非該員
再の	生可育	ピエ. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエ <i>ス</i> 帯の記		ギー			E可能)受 <i>2</i>		ネ	ルキ	一電	証書による環境価値の利用
前か	年度らる			容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 56	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 109	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 109	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 19.9	$kg-CO_2/m^2$

3	一睃11火糸1	非出重等のど	当訳						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ^{(8=(6)/1000)×⑦}	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.5	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	223,429.0	9.76	2,180.7	0.4890	109.3
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	(II) 0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 2,180.7		109.3
その	水道及び工業			m^3	483.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	483.0			0.4000	0.2
		合 計							0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

	<u>地外価吸孔剂</u>	,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
火口 %	能体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
不 丑. 不	取 仲 刊 の 笠 浦			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C808	温湿度の適正管理
	運用対策				
省					
工					
ネル					
ギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
\/\					
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	=n /#:\\	E114	高効率パッケージの採用	E129	全熱交換器の導入
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_					
	ベンチマーク区分	ラン	ク	CO ₂ 削減率(前年度日		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	CO_2/m^2	CO ₂ 排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載							

6	特記事項
()	17T HI 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

2024/2/7に受電停止(建て替えのため)

1	事業所等の概要
1	于大川 寸 / M 女

	7 /1~																	
事	業所	等	の名	称	KA	ND	A S	QU	ARE	E GA	ATE	,						
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	4	6				4
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	4	7	区	市	町;	村名	4 東京都千代田区
事	業所	等の	所在	土地	町以以	名番	*地下	内祁	田-	一丁	∄14-	-8						
事	業所等	いり かいりゅう かいりゅう かいり かいし	延床面	面積		4,	475	.41	m^2		業 ア ネ ル							
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有	•					_
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 殖	き物の	カー	部(テナ	トン	/ト)		□ 建物の一部(その他)
報	告範目	囲の	主たる	5用		事	务所					商美	美施	設(物	販)		□ 商業施設(飲食)
		途				工場	易					複合	}施	設				□ その他
にこ	おける	う細り	重業分 分類番	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			重営 吉		□ 加盟店 ■ 非該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				指 の i		ギー			E可能)受 <i>]</i>		ネ	ルギ	一電	証書による環境価値の利用
前 か	年度らん		と き 大	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 133	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	258	t
上 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 259	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 57.6	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一 </u>	非出重等の2	当前代						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ®=8×9×44/12
.[44]	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
-	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	528,853.0	9.76	5,161.6	0.4890	258.6
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 5,161.6		¹⁵ 258.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,374.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,374.0			0.4000	0.9
		合 計		·					1.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
√ □ ⟨	並み生の動性	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A207	排出状況の整理・分析・提供
和上有	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
) - 10 - 14	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 10 00 00 00 10 12				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C808	温湿度の適正管理
工				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
ルギ				C812	自動販売機の不要時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	政洲体与对外				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以 畑 守 八 刈 水	E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した	0
-----------------------	---

目標の有無	□ 有 ■ 無					_		
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載						

6	特記事項			

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

_	7 /10/																					
事	業 所	等	の名	称	内社	申田	ミッ	ドス	クエ	ア												
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	4	7				_				
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	4	7	区	市	町;	村名	東京都千代	田分	区		
事	業所	等の	所在	土地	町以	名番	地 下	内祁	田-	一丁	∄16-	-8										
事	業所等	争の多	正床面	面積		5,	909	.92	m^2		業 ア ネ ル								分		1年2	卡満
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有	•									
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部	\ [] 建	き物の	クー	部(テナ	ナン	/ 卜)		□ 建物の-	一剖	3(સ	の他)
報	告範圍	里の	主たる	5用		事務	务所					商美	 能施	設(物	販)		□ 商業施調	没(1	飲食	E)	
		途				工場	易					複合	合施	設				□ その他				
にこ	本 標 おける	細り	う類 種	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			重営 吉		□ 加盟區	吉		非認	核当
再2	生可育 利	ピエ. 用	ネルキ 状	デー 況				指 の 詞		ギー			E可能)受 <i>力</i>		· ネ	ルギ	一電	i □ 証書に □ の利用		環境	竟価値	ĺ
	年度 ら 0			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 251	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 489	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁴ 491	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 82.7	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> </u>	非出重等のど	717						
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	及 その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> (1)	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,000,550.0	9.76	9,765.4	0.4890	489.3
規則	則第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 9,765.4		¹⁵ 489.3
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	3,027.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	3,027.0			0.4000	1.2
		合 計							¹⁶ 2.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

1	地球温暖化対策の実施状況	
4	邓秋温暖化》 束切夫 雕状况	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
組糸	戦体制の整備				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
IX.)	省エネルギー			B107	主要設備の使用状況の把握
	運 用 対 策			C808	温湿度の適正管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
省					
五					
ネ					
ì		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	凯供用点头签				
東	設佣体寸 为束				
				E130	全熱交換器の導入
	型借道 7. 数等			E135	エレベータのインバータ制御
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の角無		有		無		_					
	ベン	チマー	-ク区	分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度出		%		
目標値等(選択)	CO_2	CO ₂ 排出量(延床面積当た				kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他				特記事項に内容を記載						

6	特記事項				

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

	3 /10/																	
事	業所	等	の名	称	安	井平	河田	叮ビ	ル									
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	4	9				_
					Ŧ	1	0	2	_	0	0	9	3	区	市	i町	村名	東京都千代田区
事	業所	等ℓ	所在	地	町。	名番	地 下	平沪	可町1	-3-1	14							
事	業所等	いまり かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう	延床面	面積		3,	286	.46	m^2		業 戸ネノ							
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有						
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	き物の	カー	部(テナ	ナン	/ト)		□ 建物の一部(その他)
報	告範圍	囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物	7販)		□ 商業施設(飲食)
		途				工場	易					複合	合施	設				□ その他
にこ	本 標 おける	っ 細り	分類種	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟店 ■ 非該当
再 ź	生可能 利	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエ <i>ス</i> 帯の記		ギー			E可能)受 <i>2</i>		ネ	ルギ	一電	証書による環境価値の利用
前か	年度 ら <i>0</i>			容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 85	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 165	t
上 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③ 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁴ 165	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	50.2	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一既几火杀1</u>	非出重等のど	7月八						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
./+\.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
—	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	337,595.0	9.76	3,294.9	0.4890	165.1
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 3,294.9		165.1
その	水道及び工業			m^3	1,456.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,456.0	$\overline{}$		0.4000	0.6
		合 計							1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
組糸	職体制の整備				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
12	11 407 105 00 115 115			B107	主要設備の使用状況の把握
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策			C108	温度計等による室温の把握と調整
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
エネ					
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検		
対策	設備保守対策				
N.	BY MILL 1 VI VI				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	凯供道 1 牡笠	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E130	全熱交換器の導入
	設備導入対策			E133	節水器具の採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無			_	
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載	-	

6	特記事項				

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

事	業所	等	の名	称	SC	内神	申田	ビル	/										
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	5	0				_	
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	4	7	区	市	町	村名	東京都千代田区	<u> </u>
事	業所	等の	所在	地	町。	名番	予地 下	内祁	申田1	-15-	-10								
事	業所等	多の多	延床面	ī積		3,	411	.48	m^2	事	業別ネル	f等 レキ	の <u>;</u> -	実 🤅	漬 į	年月	夏の 月間	■ 1年度分	□ 1年未満
所	有		形	態		自己	3所	有] 他	1者月	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	物の	クー	部(テナ	ナン	/ト)		□ 建物の一部	(その他)
報	告範囲	目 の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物)販)		□ 商業施設(食	次食)
		途				工場	易					複合	}施	設				□ その他	
にこ	本 標 : おける	細り	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	ピエ. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエス 帯の記	ネルコ 没置	ギー			E可能)受 <i>力</i>		ネ	ルギ	一電	証書による の利用	環境価値
前か	年度の			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 95	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 185	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	4 188	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 54.2	$kg-CO_2/m^2$

3	一段化灰糸1	非出重等のど	当訳						
燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
JAN	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
-	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	379,890.0	9.76	3,707.7	0.4890	185.8
規則	則第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				$\overline{}$	¹⁴ 3,707.7		¹⁵ 185.8
その	水道及び工業			m^3	4,579.0			0.2660	1.2
他	公共下水道			m^3	4,579.0	/		0.4000	1.8
		合 計							¹⁶ 3.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

4	地球温暖化対策の実施状況
_	515761 TILLERX 11 17 1 218 4 2 2 2 116.417 17 1

			重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A401	テナントにエネルギー使用量提供				
組組	職体制の整備						
~ ·	ラルギー 佐の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握		
2	11 10 10 10 12			B107	主要設備の使用状況の把握		
				C808	温湿度の適正管理		
	運用対策			C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整		
14							
省工							
ネ							
ルゴ							
ギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検		
対							
策	設備保守対策						
				E130	全熱交換器の導入		
	設備導入対策						
	lix lill 守ハハ 水						

	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--	--------------	--	---------

目標の有無□■有■■無	<u> </u>				
ベンチマーク区分	ランク CO ₂ 削減率(前年度日 %				
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t				
その他特記事項	特記事項に内容を記載				

6	特記事項			

1	事業所等の概要
1	

事	業所	等	の名	称	新征	官明	l治i	通り	ビル	/													
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	5	6									
	MY	<i>t-t-</i>	<u>-</u>	• 11f.	₹	1	5	1	_	0	0	5	1	区	市	町	村	'名	東京都	渋谷区	<u> </u>		
事	業所	等 の) 所 召	地	町。以	名 番	F 地 下	千馬	太ケ名	> 5−1	4-10	١											
事	業所等	等の3	正床面	面積		1,	113	.70	m^2	事	業	f等 レギ	の : -	実 á 使	責 : : 月	年月	度期	の間	□ 1年	度分		1年	丰未満
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有											
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	S [] 建	物	クー	部(テナ	ーン	小)			〕建物	の一≒	部(-	そのイ	也)
報	告範圍	囲の :	主たる	5用		事	务所					商美	美施	設(物	販)		〕商業	施設((飲:	食)	
		途				工場	易					複台	合施	設] その	他			
	本 標 おける				6	9	1	1			(事)	業区	分		直后	直営 吉	i i		□加	盟店		■非	該当
再の	生可能	指エ ² 用	ネルコ 状	デー 況				ピエス 帯の記	ネル: 設置	ギー		再生 気の			ネ	ルキ	ř.	-電		善によ 引用	る環	境価	値
前 か	年度 ら 0			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 37	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 73	t
上 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 73	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 65.5	$kg-CO_2/m^2$

3	一睃11火糸1	非出重等のど	当訳						
燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
./+\.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
—	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	149,616.0	9.76	1,460.3	0.4890	73.2
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 1,460.3		73.2
その	水道及び工業			m^3	600.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	600.0	$\overline{}$		0.4000	0.2
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

	地球	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A211	所内で温暖化対策情報の提供
♦□ ♦	サイナ カラ 東 供			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
和上常				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
) 18 tete 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 月状況の把握			B106	過去のデータによる傾向の把握
(X)	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
省				C808	温湿度の適正管理
工				C818	エレベータ運転台数の制限
ネ				C807	その他設備の効率的な使用法表示
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	武 湘 木 寸 刈 來	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		_		E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以朋等八刈來			E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有	無		-			
目標値等(選択)	ベンチマー	-ク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度出		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た			$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他		特記事項に内容を記載				

(6 特記事項				

1	事業所等の概要
1	

	ナヘ	/ 1	.,,-																			
事	業所	等	の名	称	SC:	神日	部錦	町三	三丁	目ピ	゛ル											
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	5	7								
	\!! _! ===	1.1.	/		Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	4	区	市	町村	寸名	東京	都千代	田区	-	
事	業所	等 0) 所 在	E地 ——	町 <i>2</i> 以	名番	予地 下	神日	3錦田	∏3−2	26											
事	業所等	争の多	延床面	面積		22,	095	.77	m^2							年月月期			年度分		■ 1 ^左	F未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有										
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部	S [] 建	き物の	クー	部(テナ	ナン	/ト)		□建	物の一	-部(その	他)
報	告範囲	里の	主たる	る用		事	务所					商美	 能施	設((物)販)		□商	業施設	と(飲	(食)	
		途				工場	易					複合	合施	設				ロそ	の他			
	本 標: おける				6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分]]	直営 吉			加盟店	:	■非	該当
再の	生可育 利	ピエ. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				能エス 帯の記		ギー			E可能)受 <i>)</i>		ネ	ルギ	一電		証書に。 の利用	よるタ	環境価	i値
前か	年度らの			可 容 点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1,136	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2,207	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総計(④=②+③)	④ 2,213	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 99.8	$kg-CO_2/m^2$

3	3酸化灰素排出重等の内訳										
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ®=8×9×44/12		
.144.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
び熱	その他()				0.0						
77.1	その他()				0.0						
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	4,514,000.0	9.76	44,056.6	0.4890	2,207.3		
規則	則第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
		合 計					⁽¹⁾ 44,056.6		⁽¹⁵⁾ 2,207.3		
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	8,568.0			0.2660	2.3		
他	公共下水道			m^3	9,504.0			0.4000	3.8		
		合 計		·					6.1		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆日 ≤	職体制の整備			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水丘. 升	取 平 同 の 金 浦			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		D101	白と1五司先を拝却に甘べと押担	D100	D本目目 6/57 テラジ タm) テキm 井具
エン	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C123	温湿度の適正管理
	運 用 対 策	C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C809	冷風と温風の混合損失の防止
省				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
工					
ネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
朿	以佣体认为从				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					_				
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	CO ₂ 排出量(総量)		t					
	その他	特記事項に内容を記載								

6 特記事項			

1	事業所等	の概更
1	ず未川 寸	ソンルメステ

事	業所	等	の名	称	神	田ス	クエ	アン	フロン	/ }									
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	3	4					
				•	Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	4	区	市	町	村名	東京都千代田区	
事	業所	等の	所在	土地	町。	名番	予地 下	神日	錦田	丁1-4	1-3								
事	業所等	多の多	延床面	面積		7,	341	.66	m^2	事	業 ア ネ ル	下等 レキ	の	実 á · 使	漬 į	年 <i>]</i> 目	要 <i>の</i> 男 間	■ 1年度分 □ 1年	未満
所	有		形	態		自己	3所	有] 他	1者月	所有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	S [] 建	き物の	カー	部(テナ	ナン	/ト)		□ 建物の一部(その他	1)
報	告範囲	目 の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物)販)		□ 商業施設(飲食)	
		途				工場	易					複合	合施	設				□ その他	
にこ	本 標 : おける	細り	分類番	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟店 ■ 非詞	该当
再の	生可育	ピエ. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエス 帯の記	ネル: 設置	ギー			E可能)受 <i>2</i>		ネ	ルギ	一電	: □ 証書による環境価値 の利用	直
前か	年度らる			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 186	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 362	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	^④ 364	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 49.3	$kg-CO_2/m^2$

J	3 一酸化灰素排出重等の内訳								
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
J.A.L.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	740,647.0	9.76	7,228.7	0.4890	362.2
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計					/	⁽¹⁾ 7,228.7		⁽¹⁵⁾ 362.2	
その	水道及び工業			m^3	3,362.0			0.2660	0.9
他 公共下水道				m^3	3,362.0			0.4000	1.3
		合 計							¹⁶ 2.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

		,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
∜□ ∜	サイ リッ 東 供			A207	排出状況の整理・分析・提供
市 丑	職体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
) 18 tete 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 4/4 1/11 0/2 1/11 1/11			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
省		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
工					
ネ					
ルギ					
ì		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	設 				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
	以州等八刈尔	E114	高効率パッケージの採用	E130	全熱交換器の導入
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度出	%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

1	事業所等の概要
1	サポリオツルカ

事	業所	等	の名	称	島沟	聿山	PR.	EX														
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6	_	0	0	4	8								
				•	Ŧ	1	4	1	_	0	0	2	2	区.	市町	「村	· 名	東京都は	品川区	ζ.		
事	事業所等の所在地			地	町。	名番	F 地 下	東王	ī反日	∃2-5	5-9											
事	業所等	争の致	正床面	ī積		2,	615	.58	m^2	事	業 戸 ネ <i>i</i>	「等レギ	の <u>;</u> -	実 績 使	責年 用	度期	の間	■ 1年	度分] 1年	未満
所	有		形	態		自己	2所	有		■他	1者月	听有										
報	告		範	囲		建物	勿の:	全部] 建	き物の	クー	部(テナ	ント)		〕建物	ω— ^E	郭(-	その作	也)
報	告範围	里 の :	主たる	5用		事務	务所					商美	Ě施	設(物販	į)] 商業	施設	(飲:	食)	
		途				工場	易					複台	計施	設] その(也			
に	本 標 おける	細り	}類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事	業区	分		直店	営		□ 加盟	盟店		■非	該当
再の	生可育 利	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				ピエン 帯の記	ネルン 2置	ギー		再生 気の			ネル	ギー	電	□証書の利	善によ 1月	る環	:境価	値
前か	年度 ら 0			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 32	kl
一般ル忠	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 63	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 24.0	$kg-CO_2/m^2$

<u> </u>	3 一酸化灰素排出重等の内訳								
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
./+\.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
—	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	130,435.0	9.76	1,273.0	0.4890	63.8
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						/	⁽¹⁴⁾ 1,273.0		63.8
その	水道及び工業			m^3	439.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	439.0	$\overline{}$		0.4000	0.2
		合 計							¹⁶ 0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

			重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用		
組組	織体制の整備						
	A LE MA	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握		
100 /	11 10 10 10 10 10			B107	主要設備の使用状況の把握		
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定		
				C133	可能な限り低い照度設定		
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示		
	運用対策						
省							
エ							
ネ							
ルギ							
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検		
対		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検		
策	設備保守対策						
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化		
	引,供,有, 4. 体	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用		
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)		
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無		_	_	
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6	特記事項
()	

2023.07.31付で売却、所有終了。

1	事業所等の概要
- 1	**************************************

	ず未.	71.71	~ > 149L	~																				
事	業所	等	の名	称	京村	喬宝	町F	PRE	X															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	5	5										
+	ᆀ스 그스	toke a	r +	→ 1:16	Ŧ	1	0	4	_	0	0	3	2	区	市	町材	忖 名	」 東	京者	『中央	区			
争	業所	等 ())所任	比地	町 <i>ź</i> 以	名番	*地 下	八丁		-3-5														
事	業所等	争の変	延床面	面積		2,	544	.25	m^2		業所ネル								14	丰度分	٠		1年	未満
所	有	•	形	態		自己	2所	有		■ 他	1者月	听有												
報	告	<u>.</u>	範	囲		建物	勿の:	全部		〕建	物の	クー	部(テナ	トン	<u>'</u> ト)			建物	物の一	一部	(そ	の他	1)
報	告範圍	里の	主たる	5用		事	务所					商業	Ě施	設(物	販)			商業	Ě施 彭) (自	次食	5)	
		途				工場	员					複合	計施	設					その)他				
に	本 標 おける	細り	分類種	肾号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		直足	営			〕加	盟店	i		非語	亥当
再の	生可能 利	ピエ 用	ネルコ 状	ギー 況				ピエス 帯の記		ギー			E可能)受 <i>]</i>		ネル	レギ	一電			書に。 利用	よる	環境	竟価値	直
前 か	年度らの			容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 54	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 106	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	^④ 106	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 41.6	$kg-CO_2/m^2$

3	一睃化灰糸1	非出重等のど	当訳						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ^{(8=(6)/1000)×⑦}	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
./+\.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
—	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	217,717.0	9.76	2,124.9	0.4890	106.5
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,124.9		106.5
その	水道及び工業			m^3	962.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	962.0	$\overline{}$		0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
組糸	戦体制の整備				
	the of	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
12	五. [1] (A. [1] (A. [1]			B107	主要設備の使用状況の把握
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策				
省					
エ					
ネ					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	政佣体与对外				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
	以拥与八刈尔			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	無		_		_
	ベンチマー	-ク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当た		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他		特記事項に	内容を記載		

6	3 特記事項			

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

	J // .																				
事	業所	等	の名	称	愛知	岩山	iPR	EX													
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	5	2							
					₹	1	0	5	_	0	0	0	3	区	市	町;	村名	東京都港区			
事	業所	等の	所在	土地	町以	名番	*地 下	西휭	斤橋3	-25-	-31										
事	業所等	争の変	延床面	面積		2,	584	.13	m^2		業 戸ネノ									□ 1 ²	年未満
所	有		形	態		自己	1所	有		■ 他	1者月	听有									
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	き物の	カー	部(テナ	ナン	/ト)		□ 建物の一	·部((その	他)
報	告範圍	囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 養施	設(物)販)		□ 商業施設	()	(食)	
		途				工場	易					複合	}施	設				□ その他			
にこ	おける	う細り	重業分 分類番	\$号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉		□ 加盟店		■ 身	丰該当
再 2 の	生可能 利	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエ <i>ス</i> 帯の記		ギー			E可能)受 <i>2</i>		ネ	ルギ	一電	□ 証書に。 □ の利用	よる§	環境促	面值
前: か	年度 ら 0		设告内 泛 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 84	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 164	t
まる	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 63.4	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> </u>	非出重等のど	717						
	Ith Jol Isla		推計		使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	燃料等の	種別	の 使用	単位			(GJ)	係数	(t)
			120/19		6	7	®=(6)/1000)×7	9	10=8×9×44/12
4444	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	336,025.0	9.76	3,279.6	0.4890	164.3
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,279.6		164.3
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	1,391.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,391.0	/		0.4000	0.6
		合 計							0.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

	地球區坡化剂	,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
組糸	職体制の整備				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 407 105 00 115 115			B107	主要設備の使用状況の把握
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
ж					
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	IN THE TAX SOLD SILVER	E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					_	
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容	特記事項に内容を記載				

6	特記事項				

1	事業所等	の概更
1	ず未川 寸	ソンルメステ

事	業所	等	の名	称	神智	宮北	参i	道PI	REX															
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	0	5	3										
	VII	tata _	/		₹	1	5	1	_	0	0	5	3	区	市	町	村名	東	京都	渋谷	区			
事	業所	等の	所 在	地	町夕以	名番	F 地 下	千馬	太ヶ谷	- 4-2	0-1													
事	業所等	節の変	正床面	積		1,	724	.08	m^2	事	業 戸 ネ <i>i</i>								1年	度分			1年未清	茜
所	有		形	態		自己	2所	有		■ 他	1者月	听有												
報	告	:	範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	物	カー	部(テラ	ナン	/ト)			建物	\bigcirc	部	(その	の他)	
報	告範囲	目の :	主たる	う用		事	务所					商業	 能施	設((物)販)			商業	施設	:(食	欠())	
		途				工場	易					複合	合施	設					その	他				
にこ	本 標 : おける	細り	う類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉			〕加.	盟店			非該当	当
再 2 の	生可育 利	とエン 用	ネルキ 状	デー 況				指 の i	ネルン 没置	ギー		再生 気の			ニネ	ルギ	一電			書に』 利用	ţる!	環境	価値	
	年度ら			容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 41	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 79	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁴ 79	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 45.8	$kg-CO_2/m^2$

<u> </u>	3酸化灰素排出重等の内訳								
燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12	
JAN	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
-	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	163,535.0	9.76	1,596.1	0.4890	80.0
規則	則第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,596.1		80.0
その	水道及び工業			m^3	901.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	901.0	$\overline{}$		0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
組糸	職体制の整備				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
IX.)	11 47 100 00 10 112			B107	主要設備の使用状況の把握
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策				
省					
工					
ネル					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
ж	以 州 八 八 八				
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	E> NII -47 - 171 >K	E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク CO ₂ 削減率(前年度出 %				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t				
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

2024.02.16付で売却、所有終了。

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

事	業所	等	の名	称	岩	皮神	保	町ビ	ル										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6										
					Ŧ	1	0	1	_	0	0	5	1	区	市	町	村	- 名	東京都千代田区
事	業所	等の	所在	E地	町。	名番	F 地 下	神田	日神色	呆町.	二丁	目1耆	季地						
事	業所等	等の3	延床面	面積		9,	010	.15	m^2	事	業 戸ネノ	「等レギ	の <u>;</u> -	実績 使	責 「	年 月:	度期	の間	□ 1年度分 ■ 1年未済
所	有	•	形	態		自己	2所	有] 他	1者月	听有							
報	告	1	範	囲		建物	勿の:	全部	S [] 殞	き物の	クー	部(テナ	ーン	/ト))	[□ 建物の一部(その他)
報	告範圍	囲の	主たる	5用		事	务所					商美	É 施	設(物	販)		□ 商業施設(飲食)
		途				工場	易					複合	計施	設					□ その他
に	本 標 おける	細分	分類者	€号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			重虐 苦	当		□ 加盟店 ■ 非該員
再の	生可能 利	能工. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				指 の i	ネル: 没置	ギー		再生 気の			ネ	ルヨ	ドー	-電	□ 証書による環境価値 の利用
前か	年度 ら 0			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算ユ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 405	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 785	t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 5	t
	総計(④=②+③)	⁴ 790	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 87.1	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一 </u>	非出重等の2	当前代						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ®=8×9×44/12
.[44]	都市ガス			Nm^3	118,547.6	45.00	5,334.6	0.0136	266.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> (1)	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,062,518.0	9.76	10,370.2	0.4890	519.6
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 15,704.8		¹⁵ 785.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	7,754.0			0.2660	2.1
他	公共下水道			m^3	7,754.0			0.4000	3.1
		合 計							⁽¹⁶⁾ 5.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨と

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
% Д %	サイナ リア 敷 供			A207	排出状況の整理・分析・提供
組織体制の整備				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
	L , 18 # 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
100 /	11 10 10 10 12			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理		
省		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
エ		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以州等八刈尔	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

6	特記事項				

2023.5.31取得

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

事	業所	等	の名	称	原征	官FI	FĽ)	ル													
事	業	所	番	号	Α	1	0	1	6		0	2	3	4							
	VII	tata _	/		Ŧ	1	5	1	_	0	0	5	1	区ī	市町	「村	· 名	東京都渋谷	区		
事	業所	等 の) 所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	千馬	太ヶ谷	三丁	一目3	8番1	12号								
事	業所等	多の変	正床面	ī積		3,	839	.01	m^2	事	業	r 等 レギ	の <u>;</u> -	実 績 使	責年 用	度期	の間	□ 1年度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	2所	有		■ 他	1者月	听有									
報	告	:	範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 建	物	クー	部(テナ	ント)] 建物の一	·部(·	その化	<u>†</u>)
報	告範囲	目の :	主たる	う用		事	务所					商弟	<u></u> 施	設(物販	(i)] 商業施設	(飲	食)	
		途				工場	易					複合	計施	設] その他			
に	本 標 : おける	細り	}類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		直店	営		□ 加盟店		■非	該当
再の	生可育 利	ピエン 用	ネルキ 状	デー況				指 の 詞	ネルン 2 2 置	ギー		再生 気の			ネル	ギー	電	□ 証書に。 の利用	よる環	境価値	直
前 か	年度らの			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 80	kl
一	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 156	t
まる また	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 157	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 40.6	$kg-CO_2/m^2$

3	<u> 一 </u>	非出重等のど	717						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	二酸化 排出 係数 ^⑨	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
JAN	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
-	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	320,734.0	9.76	3,130.4	0.4890	156.8
規則	則第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				$\overline{}$	⁽¹⁴⁾ 3,130.4		¹⁵ 156.8
その	水道及び工業			m^3	1,956.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,956.0	/		0.4000	0.8
		合 計							¹⁰ 1.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

1	地球温暖化対策の実施状況	
4	邓秋温暖化》 束切夫 雌状况	

4	地球區坡化剂	714 - 7442	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
糸日糸	職体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
1) JTT 1)	以下们~~正师				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	運用対策				
省工					
ネ					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
/K	is a Martin a vid Ma				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E129	全熱交換器の導入
	HV NIII AT VVI VVI				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				_
	ベンチマーク区分	ラン	ノク	CO ₂ 削減率(前年度出	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

6	特記事項
()	

2024年1月31日受益権取得

1	事業所等の概要
1	サポハサッパス

	3 /1~																						
事	業所	等	の名	称	ヒュ	.— <u>J</u>	リック	新	京橋	ビノ	レ												
事	業	所	番	号	А	1	0	1	6	_	0	1	7	6									
					Ŧ	1	0	4	_	0	0	3	2	区	市	町	村彡	名 東	東京都	中央	区		
事	業所	等の	所在	土地	町以	名番	*地 下	八丁	-堀2	リナ] 3番	\$3号											
事	業所等	いまり かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいし	延床面	面積		4,	138	.33	m^2		業 戸ネノ] 1年	=度分		1	年未満
所	有	•	形	態		自己	2所	有		■ 他	1者月	听有	•										
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	\ [] 殖	き物の	カー	部(テナ	ナン	/ト)			建物	Jの-	-部	(その)他)
報	告範圍	囲の	主たる	5用		事	务所					商美	美施	設(物)販)			商業	施設	눈(飮	(食)	
		途				工場	易					複合	}施	設					その	他			
にこ	おける	っ 細り	主業 分 分類 番	\$号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分			直営 吉	i] 加	盟店	i	= 3	非該当
再 ź	生可能 利	能工. 用	ネルコ 状	デー 況				指の 請		ギー			E可能)受 <i>力</i>		ネ	ルギ	<u>-</u>	Ē [書に。 利用	よるタ	環境	価値
前か	年度 ら <i>0</i>		设告内 泛 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算ユ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 179	kl
一般ル學	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	② 347	t
まる	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 348	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積 当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 83.8	$kg-CO_2/m^2$

燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
.1441.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> (1)	その他()				0.0				
_	一般达配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間		kWh	711,385.0	9.76	6,943.1	0.4890	347.9	
規則	川第5条の17第3	項の場合のみな	:し値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 6,943.1		¹⁵ 347.9
その	水道及び工業	美用水道		m^3	2,632.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,632.0			0.4000	1.1
		合 計						/	1.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨と

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
	職体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
水丘 水	取 平 同 の 歪 浦			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	DIVI	日の八丁の記る旧様に塞ってに産	DIO	工女队州*/[人]] (八)
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	運用対策				
(15)	連 用 刈 束				
省工					
ネル					
ギ					
[D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	kg-CO ₂ ,	/m ² CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記	記載	

S	特記事項
h	***************************************

2024年3月25日受益権取得